いわき民報

發行所
いわき民報社
平市田町一番地　電話三八一番
編輯兼發行人印刷人　千輝克己
日刊　但月曜日を除く
定價一ヶ月十圓　一部三十錢

平小鐵道急速實現へ

強力な縣同盟會結成

小名、江名、兩町を幹事に

關係市町村にも夫々組織

市郡民多年の懸案の的である平小鐵道問題は先般運輸省の實地調査も行はれたが政府の意向は二十二年度に着工の豫定とあつても現下の諸情勢からみてこのまゝでは實現は相當困難視されている面ゆ本町と石川町間の省營バス問題は早くも決定早急に實現の運びとなつているのにかんがみこの際猛運動を繼續しなければならないとあり、かつ全鐵道の實現は市郡のためのみでなく縣の發展上にも等閑視し得ないと縣當局も非常な力を入れているのに應じて縣の意のあるところを扱み期成同盟會を新に強力に結成、猛運動を持續あくまで實現に邁進することゝし去る十一日平土木監督所に關係市町村の協議會を室井縣管理課長臨席の下に開いた結果平、小名濱、豊間、江名、高久、鹿島、飯野の一市三町三ケ村に夫々期成同盟會を組織すると共にこれらを基盤に縣を擧げてのメンバーを獲得して縣期成同盟會も結成、市町村から縣への横にも縱にも一貫した連絡の下に急速實現を期することに決し縣同盟結成には小名濱、江名の兩町を幹事として進むことを申合せたこれに基いて小名濱、江名兩町では協力即時奔走に乘出すことに決つた

職組問題も圓滿な解決へ

スト問題から上野庶務協議會で上野課長等九始め全課長九名の總辭職を招きスト可否を職の危機をはらんだ平問ふたところ九課長全市役所職員組合問題[illegible]部スト反對を表明したその後市と職組の話合の[illegible]更らに五十余名の結果、三日圓滿解決吏員を一人〱招致贊危機解消をみた、右は否を求めたこれに對し二、一スト斷行に對處し合併は市議連が列座三日開かれた市會の席上可否の贊否署名を吏員に求めることは明かに組合運動の妨害であり彈壓であると萩原市會議長及び佐藤市長代理助役に抗議を申入れた揚句そのほこ先は課長連に向け課長連の態度は裏切り行爲であると詰問したのによるものである

勞農市民大會

八日再び驛前廣場で

磐城民斗では八日正後から平驛前廣場に組織勞働者、一般市民等に呼びかけ生活權獲勞農市民大會を決行することに決定終つてデモ行進にうつる

桑苗增産合同協議

六日ゆ殿山で

地方事務所蠶糸課では蠶繭の增産は先づ桑苗の增産からと六日午前一時から市內ゆ殿山社務所に各町村技術員並に桑苗生産者の合同協議會を開催、增産上の諸問題について具体的協議を遂げる、なほ全日は七百掛えの繭價大は引上げ要求は、養さん家の問題のみでなく桑苗生産者にも密接な關連のある問題としてこれが運動の援助等の諸件についても打合せる

新構想で闘爭を繼續

磐城民主共闘聲明書を發す

磐城民主共同斗爭委員會の總會は三日午後一時から平驛樓上に開いた全遞國鐵教組の斗爭經過報告について組織を更に强化擴大してあくまで貫徹に邁進することに今後の斗爭方針を決定聲明書をも發表した

聲明書

一、全官公廳勞務者二六〇萬のけつ起による二、一ゼネストは連合軍最高司令官の指令によつて中止した併し、このことによつて働く人民の生存權獲得に對するそれ〱の斗爭が終つたのではない、新しい構想に基く闘いはゼネスト中止の瞬間より開始されている、今次の斗爭によつて吉田反動內閣は完全にその無能なることを暴露した、かゝる政府によつてこの激化するインフレを克服し國民を飢餓より救ふことは絕對に出來ない、いまや全國の組織勞働者、農民進步的市民の提携により勤勞大衆に基盤をおくところの民主人民政府の樹立まで斷乎斗爭は繼續されるであらう

マージャン　一萬（イーワン）
平一丁目聚樂館裏

湯本町の火事

十三戸全燒、三戸半燒

三日夜八時十五分頃湯本町字向田四五無職佐藤彦之助さん（五一）方二階から發火折柄の强風に火はみるみる中に燃え擴がり、平市常備消防や隣接町村の應援の下に全町警防團必死の消火作業により三むね十三戸を全燒、三戸三むねを半燒し漸く仝五十分鎭火した、原因は長女ひで子さん十一のこたつの不始末から損害は約二十一萬圓類燒者は左の通り

◉全燒 佐藤彦之助、馬上まさ子、佐藤喜七根本彦一、佐藤司、飛和俊男、佐藤正夫松崎冬吉、伊藤やす、菅原政喜、熊谷彦兵衛、松崎春德

◉半燒 石山健太郎、伊藤吉四郎、渡邊直一郎

民主化を協議

農業會町村連絡會

農業會石城支部では六日好間村農業會を皮切りに左記日割で方部別連絡會を開催公職追放旋風をはじめ農業會の民主化救國貯蓄實践等その他利用事業についても種々協議する

▲六日午前十時好間村農業會
△七日同高久村農業會
◉七日小名濱町農業會
◉十日同植田町農業會

乾パンの町村割當

郡では第二回の乾パン配給を行ふことになり町村別割當を決めた、郡の割當は四百七十一キログラムで兩三日中に各町村に配給する、なお二十日前後に第三回の乾パン及び第二回の罐詰配給も行はれる

單位（キログラム）

泉村一七、四八〇、渡邊村一四、九五〇、植田町七〇、四三〇、山田村三三、一二〇、錦町七八、四三〇、勿來町六一、二三〇、上遠野村八、七四〇、川部村四七、一五〇、江名町五〇、四七〇、小名濱町五〇、〇〇〇、大浦村三、〇〇〇、四倉町一二六、〇〇〇

青果物の荷受

平生協組代行認可

平生活協同組合の臨時總會は四日午後一時から平信組ろ上に開催、縣農業會加入の件等其の他の件について種々協議した、同組合は去月七日をもつて認可され青果物の荷受代行行機關として各方面から期待をかけられている

三瓶さん表彰さる

桑繭の增産で

昨年度の桑苗生産に優秀な成績をおさめたた阪村下阪の三瓶安義さんは今度縣桑苗組合らも優良生産者として表彰されたので六日市內ゆ殿山で開く技術員との合同會議の席上これが傳達式を行ふ

全町から感謝

菅野興業部の目覺しい働き

湯本町菅野興業部では發火と同時に親分菅野富氏の指揮の下に全員一丸となつて、猛火の中を罹災者の救助や荷物の搬出から消火に必死の目覺しい働き

いわき寸言

▼平小鐵道の實現を期して各町村期成同盟を基盤に縣同盟會をも結成、邁進に決す、心强い限り

▼郡市民一致きよ力して目的の達成に努力することが大切、さゝたる感情に終始しての事杯は既に十分知つている筈

▼いましむべきは十人の感情論、百年の大計も多くは反對のための反對に崩れていることを銘記すべきである・

▲スト問題をめぐる市の職組の紛爭も漸く圓滿解決は目出度し、だらぬ醜狀をさらけ出す勿れ

▼磐城民主共闘新構想の下に闘爭を繼續するそれも結構、やることは大いにやるべし

◉ゆ本町でまた火災、原因はこたつの不始末といふ、愼しむべきは火の始末市郡の注意を强く求む

類燒御見舞御禮

佐藤司
根本彦一
佐藤正夫
伊東吉郎
湯本町

謝近火御見舞御禮

湯本座
菅野興業部　湯本町
佐藤魚直店　湯本町
千葉久次郎　湯本町
石川屋　湯本町
越後屋
上野屋　松本久吉　電六八番
松本商會　松本庫造
相馬屋　相馬榮三　湯本町東町電一四五
正本屋材木店　大平喜代治　湯本町
尾澤理髮店　本町
高橋富治
小島指物店
小林茂
田中新市
長柄順藏
三狩佳治
鴨保富
霜山八ル
高崎勝衞

類燒御見舞御禮

三日午前三時十五分頃菊田劇場からの出火に依り當郵便局が類燒の災厄に遭ひましたが早速お馳けつけお見舞を頂きまして厚く御禮申上げます

拜趨御禮申上ぐべき處御尊名洩も有之略儀ながら紙上を以て御禮申上げます

石城郡植田町本町
植田郵便局
局長　星克夫

父荘次郎儀病氣療養中ノ處二月二十七日死去仕候生前ノ御厚誼ヲ拜謝シ比段御通知申上候

追而葬儀ハ二月六日午後一時自宅出官良善寺ニ埋葬可仕候

昭和二十二年二月四日
平市南町五二
喪主　根本正
外親戚一同

父涌井兼作儀永らく病氣中の處二月四日午前六時療養叶はず死去致しました就きましては生前の御厚誼を拜謝申上ぐると共に御通知申上げます

追而葬送の儀は二月六日午后二時自宅出くわん菩提院に埋葬する事と致します

平市十五丁目
喪主　涌井長久
友人總代　關內正一
外　親戚一同

◇御申越次第型錄進呈
金庫は甲子
大型金庫　手提金庫　書庫
◇在庫豊富◇
福島縣一手販賣
小名濱代理店
廣屋商店（ヒロヤ）
小名濱町　町電一六八番
◇輸送据付迅速確

繭價の大幅引上げ要求

千八百掛を唱え養蠶家起つ

終戰後見返り物資として大きく浮び上つて來た繭價に對し、政府では大幅値上げを行つたがそれでも他の物價に較べ安きに失するとあつて、郡内養さん家千七百戸は今一丸となつて、繭價の現在七百掛から千八百掛への大幅引上げを要求すると共に本春から即時厲行を迫るべく起ち上つた、郡の二十一年度總收繭額は三萬二千百余貫を數えているが他の農産物と比較して養さんのみは依然均衡がとれずこれを履行せぬ限り他の農産物への轉換空氣が濃厚となつているので成行を重視されてゐる

樋口委員長聲明

教組スト中止に對し

教組石城支部第八方部樋口道三委員長は三日スト中止に對して左の如き聲明書を發した我等の運動に對しては常に絶大なる御援助を賜り感謝に堪えません、あゝ然るに突如のスト禁止命令とは、これこそ我々勞働大衆に對しての一大痛恨事でありますこの悲痛は何にも例えようもございません、併しながら我々はストは中止しましても益々團結を固くして鬪爭をか烈に展開、目的貫徹の日まで斷乎頑張り拔く覺悟でございます、勞働者ー農民ー萬才ー我々は固く團結せねばならない、この言や牢記すべき我々の信念です、今後の御べん達と御支援を懇願申上げます。

平警防團へ

蒲生氏千圓寄附

石城郡内鄕町大字しる田内鄕炭鑛々業所主蒲生正利氏は平警防團の日頃の活動に敬意を表し一日同團へ千圓寄附した、

知事から謝電

市の供米完遂に

別面所報の如く市の供米完遂に對し三日石厚知事から左の如き謝電に接した

二十一年度米、甘藷政府買入割當の完遂を感謝す、市民各位によろしく

なおこの榮譽のかげには吉田吉次右衛門さんの三俵、和田正男さんの二俵超過供出が光が

衣類泥が増加

一月中の盗難 實に七十一件

昨今盗難とどけ出が多つている

いが平署の一月中の統計によると實に七十一件に達している、とどけ出のないものはこの外更らに二倍には達しよていうとみられる、盗難品は最近食糧品は増配その他の關係から少くなつたが、そのかはりに自轉車泥と衣類泥の增加が目立つてい

木炭林組誕生

生産改良を目指して

郡内の木炭生産團体が一丸となりこんど石城木炭林産組合を結成することになり十五日午後一時から平市公會堂日本間に擬會式を擧げる、生産の改良と確保配給の適正をはかるもの

二万石突破は確實か

郡の坑木供出見透しつく

郡の坑木供出割當は一萬五千七百石で期限迄あと二ケ月余すばかりとなつたが、一月中の生産は割當[illegible]千百三十石に對して一千七百余石といふ心細い數字を示した、地方事務所林産課では各町村に業者を集めて懇談會を開催坑木危機突破に奮起を促していたが三日植田地區を最後に終了した二月の生産割當五千七百三十石三月七千七百十石となつているが、郡内全業者の協力により割當一萬五千七百石どころか、二萬石突破も確定的となつた

開放

投書を歡迎要望批判結構紙上とく名可

ストの波紋

⊙全官公廳スト中止、汽車は今日も走つてゐる。電話も使へる。新聞も讀むことが出來る。平和なる秩序の爲喜び之に過ぐるものはない。吾人は破壞を愛さない。其目的達成の爲破壞と云ふ手段を要するならば其目的を抛棄するのである。手段を選ばざる目的主議が日本の今日の悲運を招いた。

⊙今こそ吾人は「權威」と云ふもの丶本質を思ひ起さなければならない。權威尊重の精神は少くも高い知性を必要とする。權威を認めざる限り究極の支配力は暴力に過ぎない。事ある毎に數ケ月を出ずにストを宣する人々は常に必ず次のストを行はなければならない。權威の確立のためには、權威尊重が先決であるから。

⊙扨て愛國ストを自稱した人々は、正に愛國を中止する必要がある今日より國を愛することを止めた人々はどうやら非國民である。自ら墓穴を掘る愚はこの人達特有の技能てあるが、愼む可きは口である。

⊙スト絶對支持とビラを貼つた者がある絶對と云ふからには、假令反對があらうとも、槍が降ろうと火が降らうと支持すると云ふ意味に違ひあるまい。これは叉飛でもない結果におどしいらざるを得ない。信義と叅ずる者は須らく何等かの表明を行はなければならないそれが民主的國家に於ける輿論の喚起にあづかつた者のとるべき責任である。だが『前言取消』で濟むであらうか

⊙愛國ストの故にマ元帥に與へた印象は國民の責任ではない。それが故に得らる可を援助を得られないならば、勞組は如何に責任を負ふべきか。輕々しい問題ではない。

⊙翌朝奇麗にビラを片ずけた處は仲々立派である。但しある驛等ははがそうもしない驛長の責任觀念を疑はれよう。

⊙スト中止の平驛前の大きなビラは見にくい一寸急ぐとあの程度のボロを出すのはこつ稽である。誤字だらけである。斷傷の思ひとは心中察するに余りあつておつりが來よう。

⊙國民大衆の輿論裁定必要であろう八五〇、萬の勞働者の外に八千萬の日る人がゐる革命の機運はとんでもない處に育つてゐるかも知れないのではないか

（山野邊武）

貧困者に乾パンを

市社會課では、生活困窮者に對し救濟用乾パン百キロを六日午前十時から食營出張所で、一人り二袋の割で七八世帶二百二十一名に配給する

商友會の臨時總會

後任會長選任

商友會臨時總會は八日午後一時から平商議堂に開き、後任會長問題について種々協議決定する、副會長宮川義一氏の昇格が有力視されている

磐城民鬪總會

鬪爭方針決定

磐城民鬪の總會は三日午後一時から平驛ろう上に開催今後の鬪爭方針を決定した

依ぜん主食のやみ

平署の取締り強化

平署では石炭、木炭の闇取締りと併也て主食の買出の取締りを行つているが四日までに檢擧されたのは左の通り

▲豐間町大字豐間無職宮田新太郎(三〇)は仙臺方面からの買出し部隊をつかみ一升五十圓の割で八斗を買入れて此れを内鄕方面に齎つて賣つた

▼内鄕町大字綴自轉車修理業屋澤記(四五)は母の實家宮城縣から田植の手間賃がはりとして一斗を買つて

▼相馬郡田立木村大字北柏農柴崎一男（一八）（假名）は不作の爲に供出を免除されたのを幸に數回に亘つて湯本町理髪業吉田昇(三八)外一名に七升を五千圓で賣つたもの

女事務員

市で募集

市役所勸業課では、人口調査の帳簿整理のため高女卒業程度の事務員を募集中で希望者は六日までに勸業課へ申込まれたいと

小名濱小唄發表

盛況極めた音樂祭

小名濱町文化協會音樂部では第一回公演會を日本水素習聲合唱團、女子青年團コーラス團小名濱高女校コーラス團、國民學校さざなみ會の協力を得て二日午前十時より第一國民學校講堂に洋樂部長城勇氏外十二名邦樂部杵屋勝也保氏外四名、舞樂部山本ハル子さん外四名によつて開幕したが聽衆實に貳千を數え、盛會を極めた、殊に作詩部の小濱常司氏の作歌に成る小名濱小唄の發表演奏は非常な好評を拍した

小名濱小唄

一、富ケ浦なり
オボロの月に
ぬれて坂道
花　吹雪
あれは大津か
底曳船か
沖の波間に
灯が並ぶ
サテモ小名濱花の町

二、泳ぎつかれて
砂原に行けば
昔なつかし
地曳網
西は照島
東は岬
遠く日立銅山の
うす煙り
サテも小名濱〱
夏の町

三、日暮汐風
そよりと吹いて
野田の玉川
千鳥なく
昔能因歌つた名所
今は黄金か
波ばかり
サテも小名濱〱
夢の町

四、行こうか戻ろうか
海岸道路
せめて築港の
市場まで
船が這入れば
鰮の山に
男鹿胸の花が咲く
サテモ小名濱〱
船の町

木土建築設計請負
有限會社
平土地住宅
社長　正木昌次郎
平市田町五
電二〇二番

古人現實にし
現人を永遠にする
◈永久變色なく◈
服裝も自由に
菊水肖像畫院
平市五丁目四
電話九八九番

買ふ身になつて！
サービス本位
あらゆる百貨
卸問屋
さかいや商店
平市六丁目大通り
電話四八五番

人夫急募
三十名　待遇三十五圓以上
平市立町九一
荒木工業所
平勤務[illegible]

▲移轉御知らせ▼
弊所事務所は今般左記に移轉しましたので御知らせ致します
舊事務所　小名濱町定西三七
新事務所　小名濱町隼人一〇七ノ一
日本水素工業株式會社正門通り
營業課目
設計製圖一般
機械組立並据付
汽鑵配管製作据付
揚梁鐵骨製作組立
製鑵熔接一般
土木建築一般
金子建鐵工業所
小名濱出張所
電話二五三番

◇入荷御案内◇
いざ編みませ　貴女の眞心こめて
仄かな絹の香り　あゝ懐しの感觸よ
まわた毛糸各色
眞綿製品各種
豊富に入荷しました
□有名化粧品と服裝雜貨履物の店
株式會社
川又
平白銀町　電52番

◇小型自動車修理部◇
ダットサン
ダイハツ
マツダ
くろがね
平警察署前通
三浦商會
電八六四番

眼鏡
專門
各眼科醫指定
視力試驗設備が有ります
進む文化に守る視力
玉屋
平市二丁目
新設電話九一〇番

パーマネント
◈メイ化粧品部◈
優良化粧品小物
メイ牛山門下

永山ツル子
平市田町六
メイ美容室